

令和2年度第1回  
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日時：令和2年8月28日（金） 18：30～20：30

会場：袋井市役所4階 庁議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、石川春乃委員、岡本伸顕委員  
片山貴彦委員、濱岡博史委員、原野英見委員、右島学委員

事務局：副市長、企画政策課、総務課

---

<会議次第>

○報告事項

(1) 第2次袋井市行政改革前期実施計画の進捗について

○意見交換

(1) 第2次袋井市行政改革後期実施計画の策定について

(2) 押印廃止とデジタル化について

---

<会議の概要>

委員委嘱や会長・副会長の選出をはじめ、第2次袋井市行政改革「前期実施計画」の進捗状況の報告や「後期実施計画」の策定に向けてのご意見、ご提案をいただいた。また、重点取組テーマとして、本市が現在取り組んでいる「押印の廃止」についても意見交換を行った。

<委員の意見>

○後期実施計画の策定について

- ・取組項目から実施方針にボトムアップしてもよい。柔軟に計画策定するべき。
- ・問題、課題の整理をし、なぜ改革したいか見えるようにすること。
- ・効率化、スリム化はやりつくした。新しいことに積極的に取り組む体質にしていきたい。
- ・行政間で市民サービスが異なるのはいかがか。同じ経済圏は、同じ内容にするべき。
- ・地域で身寄りの無い人をサポートする体制を構築していくべき。
- ・現在の都市環境に配慮した施策は、不十分。
- ・これからの社会では、財政効果と環境対策の両立を前提とした施策構成が必要である。
- ・費用対効果を考えた上、成果を見据えて取り組む事が必要（手段を目的としないこと）
- ・多くの取組があるなかで、どうやって財源を確保するかが課題である。
- ・市の取組を上手にプロモーションし、すぐに実行する行政にしていくべき。
- ・良い取組は、担当課レベルで迅速に実施できるようにすること。

○押印廃止とデジタル化について

- ・民間企業同士の請求書においては、押印は不要。市役所だけが押印を求めている。
- ・押印廃止をもう一步進め、紙ではなくて、オンラインで申請できるようにしてほしい。
- ・このくらいの取組であれば、担当者の事務改善レベルでどんどん進めるべき。
- ・急なデジタル化で、取り残される人が出ないようにすること。
- ・押印廃止を進める内部手続きで、総務部門が特例規則を制定する手法は、効率的で良い。